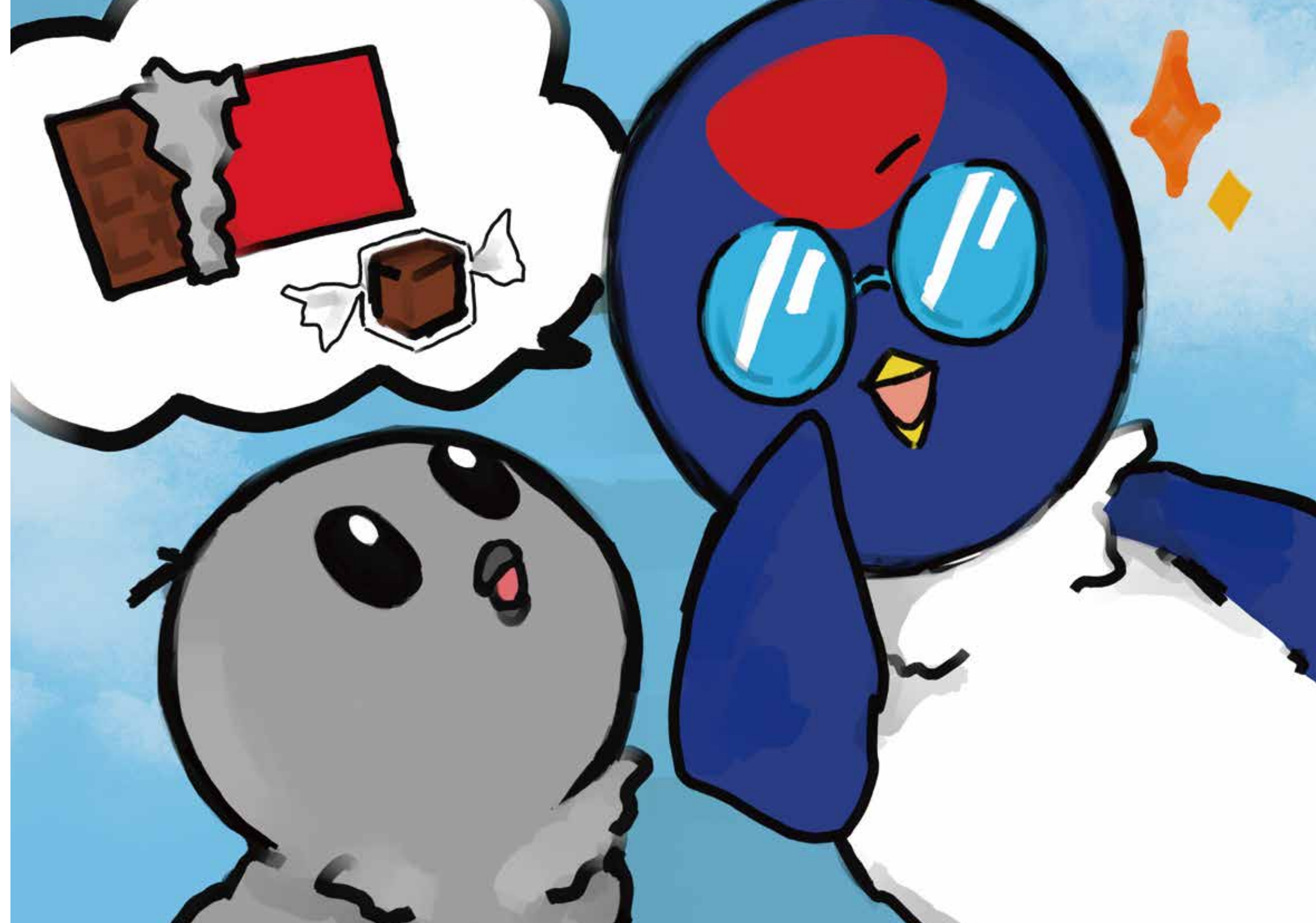




「はやくしろよ！ おいてくぞ パブロ！」
「ちょっと まってよ みんな！」
ここは たくさんの どうぶつたちで にぎわう
おおきな いちば。
アナツバメの パブロは よんわの ともだちと
いっしょに あそびに きていました。



きょうは みんなが あまりにも はやあしなので
「そんなに いそいで どこへ いくの？」
と パブロが ききました。すると
「このさきに チョコレートが やすく うっている
おみせが あるんだよ。」
と ライトが おしえてくれました。



「やった！　ぼく　チョコレート　だいすきなんだ！」
と　パブロが　よろこんでいると
「そうなのね。　じゃあ　うりきれて　しまうまえに
はやくいくわよ！」
と　リリーが　いました。

これは　パブロにとって　初めての　ともだちと
初めての　おでかけです。
パブロは　ともだちと　おでかけ　できること、
そして　だいすきな　チョコレートを　たべられることに
とても　わくわく　していました。



「ついたよ！ みんな！」

ライトの あんないで パブロたちは
チョコレートやさんに つきました。

「よーし！たくさん かうぞ！！」

ロックの ひとこえて パブロたちは
わくわくしながら おみせのなかへと
はいつていきました。



「あら！　すごく　やすいのね！　ここのおみせ！」

と　リリーは　チョコレートの　ねだんを　みて　おどろきました。



しかし　パブロは　チョコレートを　でに　とりますが
なぜか　カゴに　いれません。

それどころか　むずかしい　かおをして　たちどまっています。

ライトも　いろいろな　チョコレートを
カゴに　いれています。

ロックの　カゴは　はやくも
チョコレートで　いっぱいです。

そんなパブロに きがついた ロックは「どうした？ だいじょうぶか？」

と こえを かけました。

ほかの みんなも あつまってきて しんぱいそうに パブロを みつめます。

「すきな チョコレート ないの？」と メリーが きくと、パブロは

「ううん。 たくさん あるんだけど・・・でも・・・」

と いって だまりこんで しまいました。

（ぼくのせいで みんなの たのしい じかんを だいなしに してしまうかも
しれない。）

（でも ジョーンズさんは ぼくには ぼくだけのいろが あるって ってくれた。）

（ロックたちは きっと このことを しらない だけなんだ。）

（ぼくが おしえて あげるんだ！ これは ぼくにしか できない ことだ・・・！）

そう こころにきめて パブロは くちを ひらきました。



「あのね、みんな・・・

みんなは フェアトレードチョコレートって してる？」

と パブロが きくと、ロックは くびを かしげて

「おれは しらないな。 みんなは？」

と いい、ライト リリー メリーも

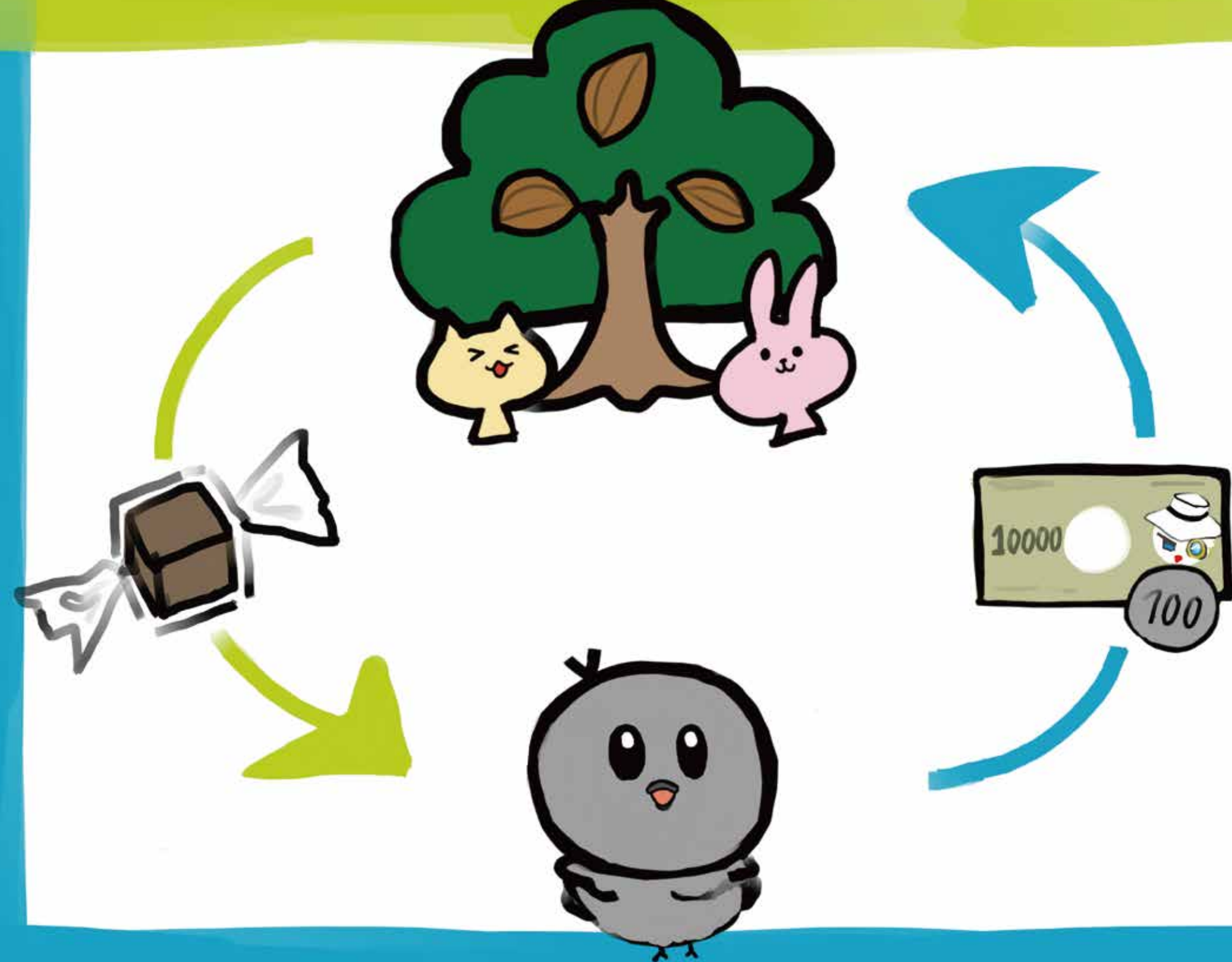
「しらない。」と いいました。



「ふつうのチョコレートは そのざいりょうを つくってくれている
どうぶつたちが すこししか おかねを もらえていないことも
あったりするんだよ。そうすると こどもたちが がっこうに
いけなかったりするんだ。」

「だから、フェアトレードチョコレートっていうのは チョコレートを
つくってくれている どうぶつたちが ちゃんと おかねを
もらえるように しているんだ。」

と パブロは みんなに せつめい しました。



「なるほど、そうだったのね・・・でも フェアトレードの チョコレートか
どうかは どうやって みわければ いいの?」と リリーが ききました。
「うーん...そうだ! じゃあ いっしょに フェアトレードの チョコレートを
さがしに いって みようよ!」
そういって パブロたちは べつの おみせに むかいました。



「みて！これがフェアトレードのマークだよ。」

「このマークがついているチョコレートを

かえば、チョコレートを つくってくれている

どうぶつたちは ちゃんと おかねを もらって せいかつ できるんだよ！」

と パブロは いいました。

それを きいた ロックたちは

「おまえ すこいな！」「べんきょうに なったよ！ おしえてくれて ありがとう！」

「パブロは ものしりなのね！」「じゃあ この チョコレートを かいましょう。」

と いいました。

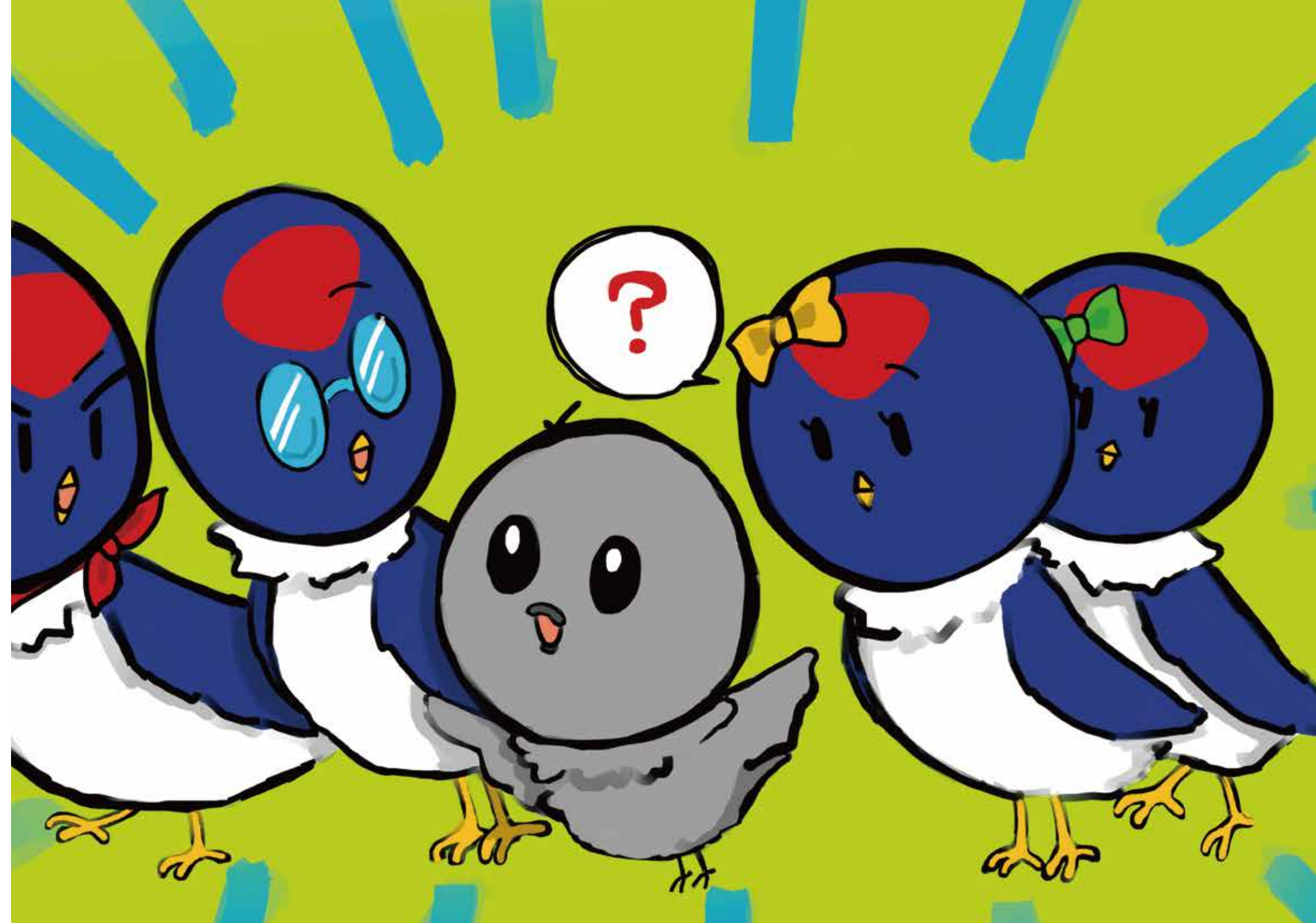
それを きいて パブロは

(ゆうきを だして みんなに つたえて よかった)

と おもいました。

「じゃあ、フェアトレードチョコレートは まほうの たべもの だな！」
と チョコレートを てにした ロックが いいました。
「なんて？」と リリーが きくと、
「だって かったがわも うったがわも しあわせに なるだろ？」
と とくいげに こたえました。

それを きいた ライトは、
「じゃあ つぎは だれが いちばん おおく フェアトレードの
マークを みつけられるか きょうそうしようよ！」
と いいました。 リリーも
「それ いいわね！ たからさがし みたいで たのしそうだわ！」
と いって べつの おみせへ はしって いきました。



「あ、ずるい！」

「まってよ！」

ほかの みんなも リリーを おいかけて はしっていきます。

ロックも みんなと はしりだしますが すぐに うしろを ふりかえって

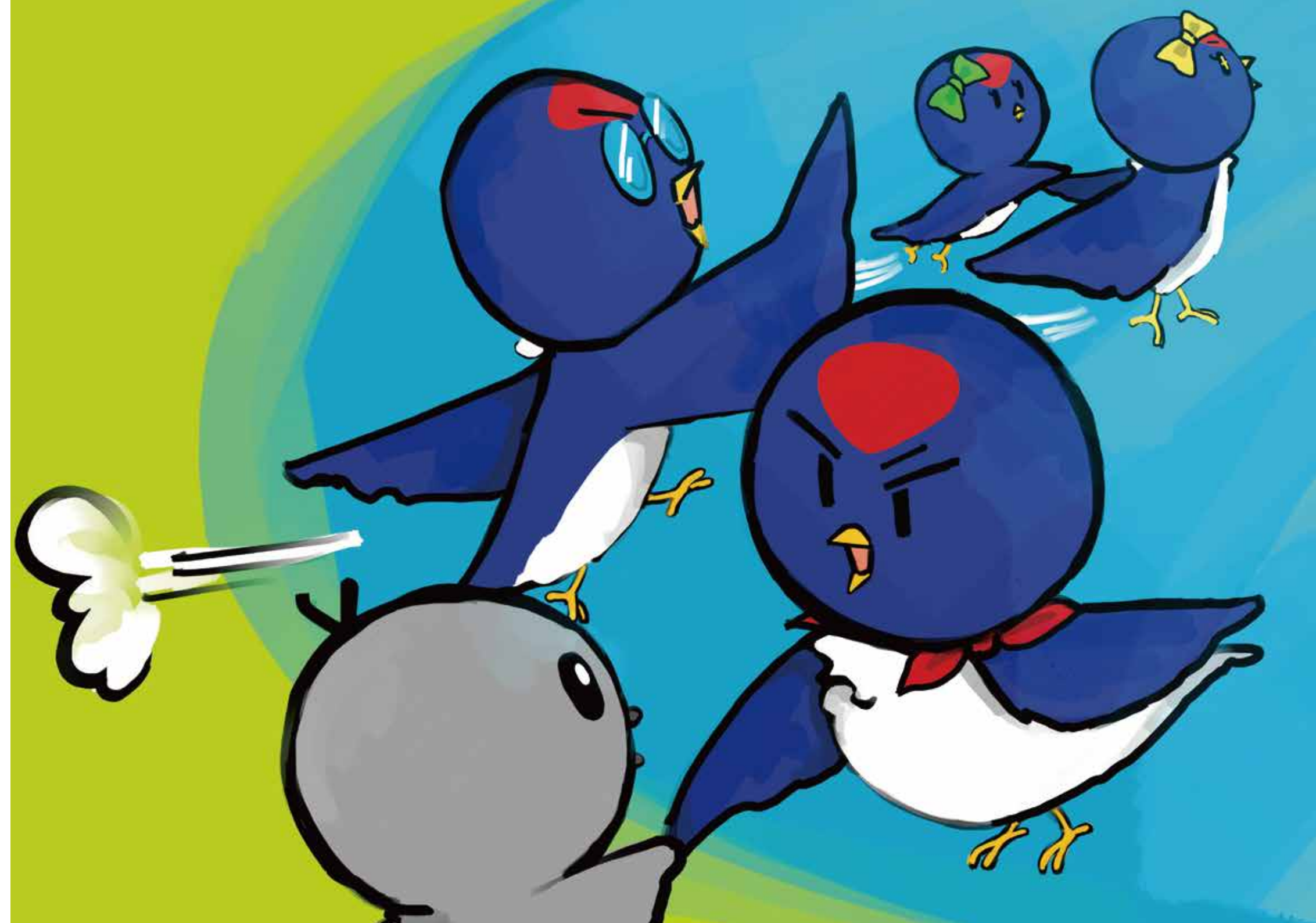
「パブロも いくぞ！」

と こえを かけました。

パブロは うれしそうに

「うん！！！」

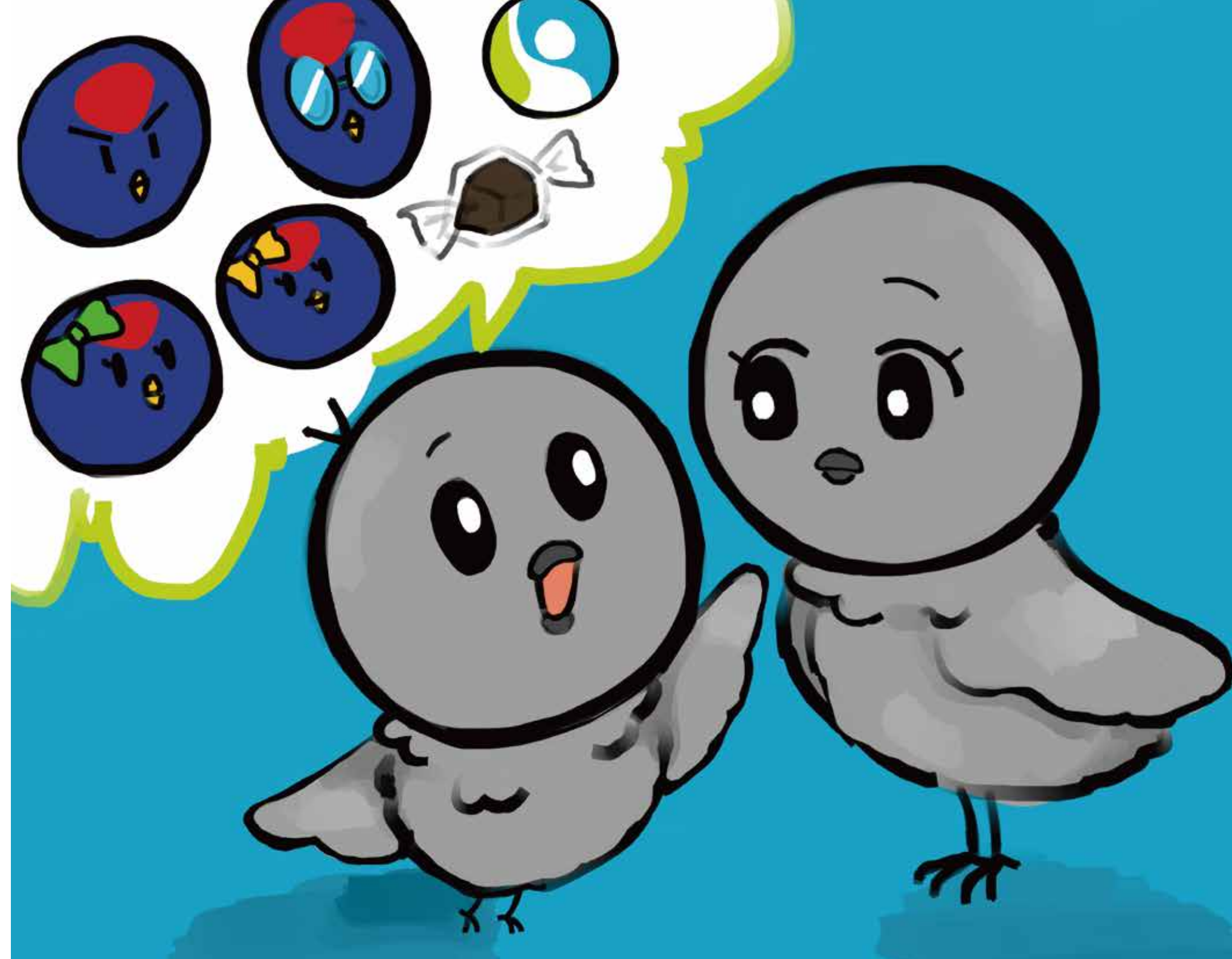
と いって みんなと いっしょに フェアトレードの マークを
さがしに おみせへ むかっていくのでした。



つぎのひ パブロは マレーシアの おかあさんのところへ
かえりました。

おかあさんは パブロをみて
「うれしそうね。 なにか いいことでも あったの？」
と ききました。

パブロは
「ぼくね、 フェアトレードチョコレートについて
にほんの ともだちに おしえて あげたんだ！」
と とくいげに いいました。



おかあさんは パブロを ぎゅっと だきしめて
「それは あなただけの すてきな ” いろ ” ね。」
「あなたにも あなたにしか できない ことが あるの。」
「これからも にほんの おともだちと こまっている
どうぶつたちを たすけて あげるのよ。」
と いいました。
パブロは
「うん！ もちろん！」
と げんきいっぱい にこたえました。
パブロの ぼうけんは まだまだ つづきそうです。

おしまい



チョコレート^{のしょうかい}

フェアトレードチョコレートの啓発を目的とした絵本を作る上で、絵本に掲載するチョコレートは実在するものにしようが良しと考えました。そこでイオントップバリュ様へチョコレートの使用許可をいただけないかご相談させていただいたところ、ご快諾いただき、こちらの絵本に掲載することができました。

おみせて^う
すかにみてね!😊



♡ 1作目はコチラ♡



♡ Instagramはコチラ♡



@SDGS_EHON_PROJECT

